

こうして 保存

できればそのままの状態に。

やむを得ない時は発掘し記録で保存

埋蔵文化財は、私たちの共有財産であり、後世に残したいものです。そのため市では、できる限りそのままの状態で保存するよう努めています。また、専門的な知識を持つ十人に「埋蔵文化財パトロール調査員」として、保存状態を巡視していただいています。

開発などで破壊される恐れがあるなど、やむを得ない場合は発掘調査し、記録で保存しています。開発に伴う発掘調査の件数は増加しており、今後東海環状自動車道、伊勢湾岸道路、第二名神自動車道、北勢バイパスなどの開発による大規模な発掘調査が予想されています。これからも文化財保護と開発事業の調整を図り、保存に努めていきます。

遺跡の変化を報告し、保存・記録に役立てます

《埋蔵文化財パトロール調査員》

中根真帆さん^{四五} 川島町

約二百力所の遺跡を数人で担当し、年間十回巡回して、その状況を報告しています。遺跡の上が資材置き場になったり、造成されたりするなどの変化を報告することで、貴重な文化財の保護につながってほしいと十四年間続けています。何度も訪ねているうちに地域の人から遺跡情報を聞けたりして、私たちの役割も理解されてきました。

埋蔵文化財に触れよう

太古の息吹に直接触れ、大切にすることを

埋蔵文化財は、身近にあり、私たちが住んでいるまちの歴史や昔の生活を知る手掛かりになるものです。市では、埋蔵文化財について理解していただくために、さまざまな機会を設けています。

【現地説明会】

発掘調査では、調査が一段落すると現場を公開します。土の下から現れた当時の様子を直接見ることができ、発掘現場ならではの臨場感が味わえます。

【体験発掘】

自分の手で土を掘り、土器片を探し出します。条件が整えば実施しています。

【体験教室】

要望に応じて、文化財整理作業所の見学会と整理作業の体験教室を開催しています。

【報告書の販売】

調査報告書を販売しています。また、「報告書復刻版刊行事業」により、昭和40年代の貴重な報告書を刊行して、販売しています。(販売場所/文化課)

【出前講座】

10人以上の団体から生涯学習課に申し込みがあれば、文化課職員が出向いて、最新の発掘情報や本市の考古学の状況などについて話します。

【発掘展】

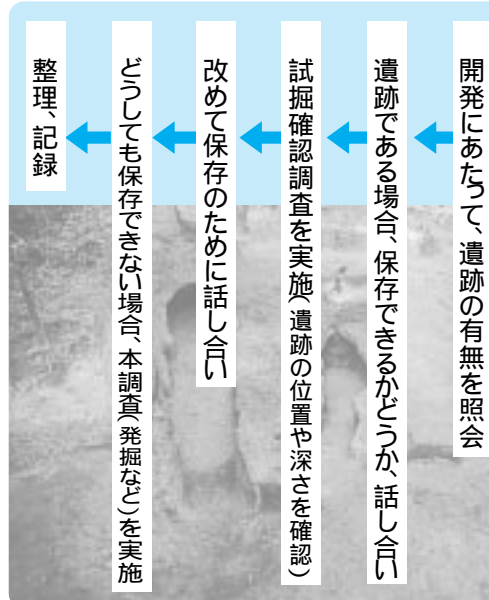
市立博物館などで、出土品を中心に発掘調査の成果を展示します。

第5回発掘展 四日市市埋蔵文化財展2000

これまでの市教育委員会の速報コーナーに加え、三重県埋蔵文化財センターが四日市市内で行った発掘調査の成果の速報コーナー、市内初の発掘調査から40年の足跡を振り返るコーナーなどを設け、市内全域の発掘調査成果を紹介します。

- 期間/9月16日(土)~10月9日(月)
- 場所/市立博物館四階
- 入場料/大人210円、高・大生160円、小・中学生100円

発掘調査の流れ



体験発掘



調査報告書

出土品がよみがえる

「文化財整理作業所」(寺方町)

発掘調査の出土品は、ここ文化財整理作業所で水洗いされ、破片に出土場所や年月日を書き込んで接合・復元作業が行われます。形や厚さ、文様などの記録を取り、写真撮影された後、保存処理され、報告書が作成されます。また、復元された遺物の展示コーナーもあり、だれでも見学できます。



展示コーナー